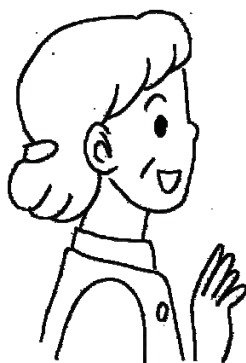
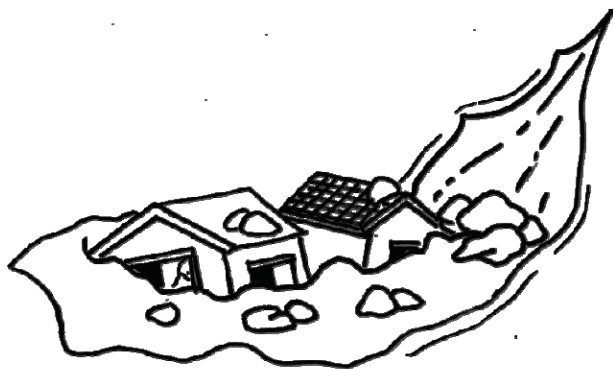
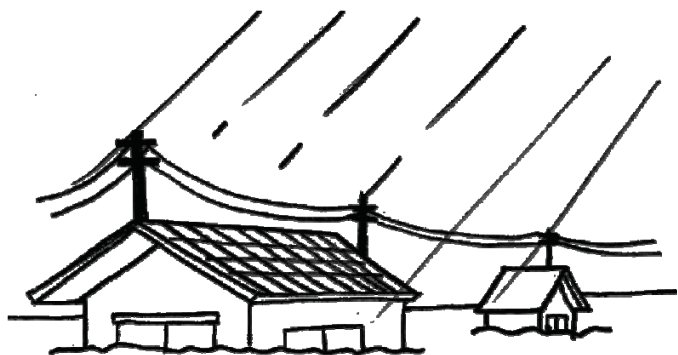


《保存版》

知ってほしい！聞こえなくて困ること

～災害の時～

[聴覚障害者支援マニュアル]



聴覚障害者に対する防災プロジェクトチーム

中津川聴覚障害者協会

手話サークル「かやの実会」「すみれの会」

中津川市 防災対策課・障害援護課 監修

市民の方へのお願い

私達聴覚に障害をもつ者は、ただ聞こえないだけではありません。「聞こえない」は、外見からはわかりにくい障害・コミュニケーションの障害と言われます。耳からの情報を得ることが出来ないのです。

もし、災害が起こったら…日々不安を抱えて暮らしています。「聞こえない」ということを市民の皆様によくご理解いただくために、このガイドブックを作成しました。

以前、中津川市が各戸に配布しました「市民安全安心ガイドブック」に『耳が不自由な人』に対してのコミュニケーション手段が載っていますが、一口に『耳が不自由な人』と言ってもさまざまです。それぞれのニーズに合った社会資源・支援が要求されます。本当に安心できる暮らしに少しでも近づくよう、私達聴覚障害者が困る事、コミュニケーション手段等を取りあげ明確にしました。

いろいろな事情で聞こえなくなった人たちがあなたの身近なところにも住んでいます。あたたかい声（心）をかけていただき、ご近所付き合いができれば幸いです。どうかご協力をお願いいたします。



聴覚障害者に対する防災プロジェクトチーム一同

『災害は忘れたところにやってくる』

(中津川聴覚障害者協会のマーク)

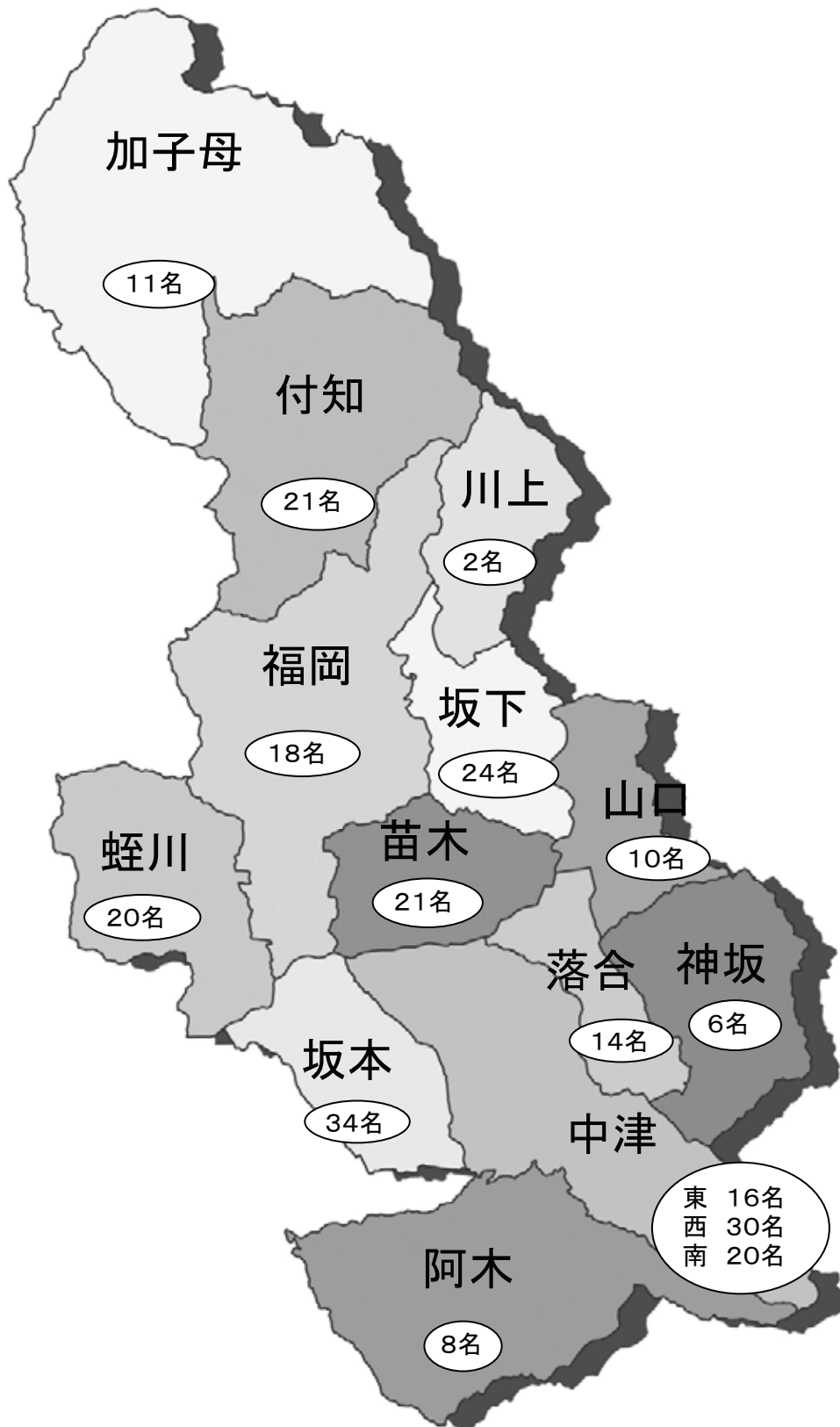
目次

1. 市民の方へのお願い	P 1
2. 聞こえない障害は外見からはわかりません	P 2
3. 聞こえないとこんな不便や危険があります	P 3
4. 聞こえない人とのコミュニケーションの方法	P 3
5. 災害の時、困ること たとえば……	P 4
6. 聞こえない皆さんへ	P 6
7. 福祉(第二次)避難所	P 6

2. 聞こえない障害は外見からはわかりません

特に災害の時は音声による情報が解らないためさまざまな困難が起こります
聞こえないことがどのようなことかを知っていただきたい
共に協力し、暮らせるための社会になることを願っています

中津川市には255人の聴覚障害者が、あなたの身近なところで暮らしています
(内 中津川聴覚障害者協会会員28名) (H19. 12. 1現在)



3・聞こえないと、こんな不便や危険があります

音声による情報はわかりません

☆ ラジオ・放送・広報車など、音の情報が伝わらない

☆ 電話ができない



☆ 寝ているときは何かおきても気づかない・わからない

☆ 車のクラクションが聞こえない



4・聞こえない人とのコミュニケーションの方法

口話・筆談だけと思いませんか？

☆ 筆談

文は短く、わかりやすく！



☆ 口話(読話)マスクは取る
相手の口の形を読み取る
ゆっくり！はっきり！



☆ 身振り・手振り

言いたいことを体の動きで伝える



☆ 空文字(空書)

自分から見た文字を一つ一つ
区切って書く、口形もつけて



* 土文字など活用方法もあります

☆ 手話(マスクは取る)

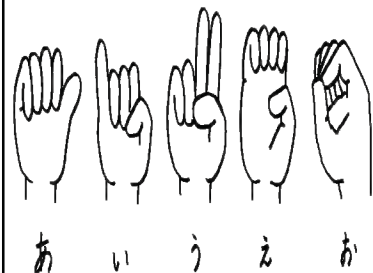
手やからだの動きであらわす



* 手話を知らない聴覚障害者もいる

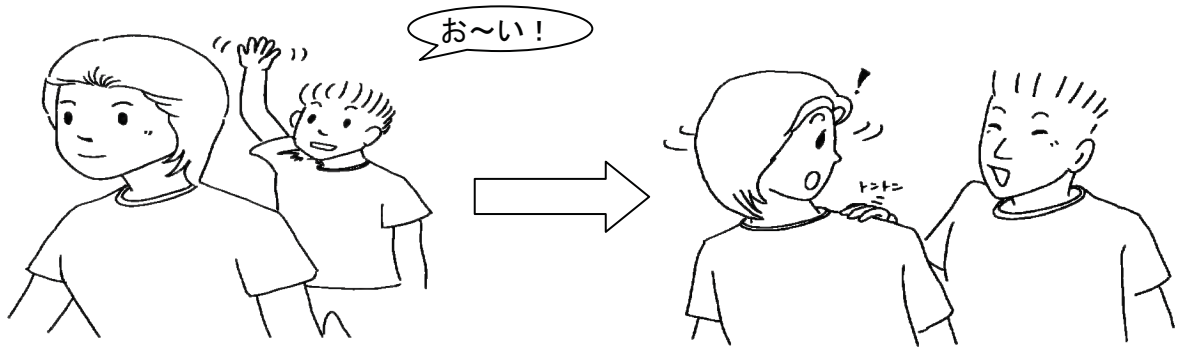
☆ 指文字

50音を手指であらわす



あ・い・う・え・お

- ☆ 呼びかけても返事のないときは
肩をたたき正面からコミュニケーションをとってください



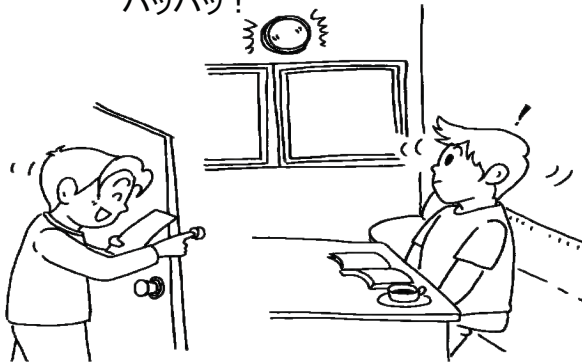
- ☆ 補聴器をつけていても、いつもすべてが聞こえるわけではありません
会話の内容までつかめないことがあります



家の下敷きになり外から見えないとき、救援者の呼びかけに答えられません



- ☆ 気づかせる方法の一つとして電灯を点滅させます
パツパツ!



聴覚障害者用屋内信号装置

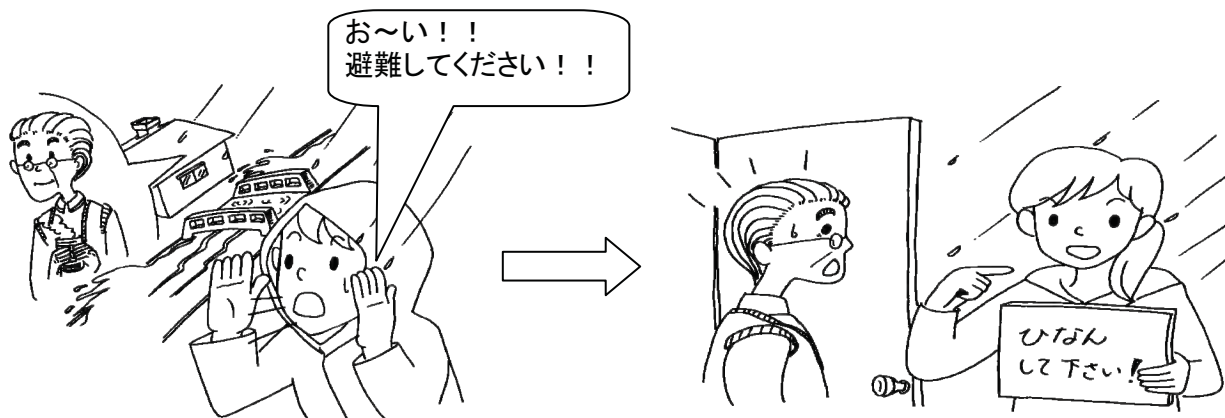
グルグル回す



停電の時は懐中電灯も有効

5・ 災害の時、困ること 大変だ！どうすればいいの？！ たとえば、水害の時

- ☆ 激しい雨音も、広報車・ラジオの放送も聞こえません⇒⇒⇒ 簡単なメモで知らせてください！！



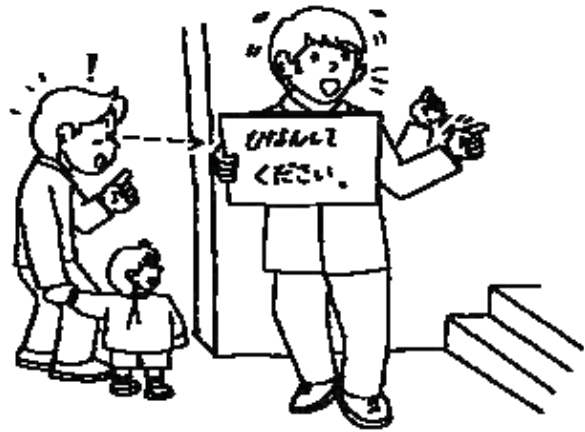
たとえば、電車・バスやデパートで

何が起こったのか、どうすればよいのか

正確な情報を張り紙やホワイトボードなどで
知らせてください



電車・バスなどで

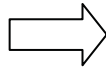


デパートなどで

たとえば、避難場所で

新しい情報やさまざまな呼びかけ・放送はわかりません

放送や呼びかけに気づかない人がいたら肩をたたき、身振りやメモ・ホワイトボード
張り紙で知らせてください



手話通訳者・要約筆記者を災害対策本部に要請してください



聞こえない人に頼まれたら代わりに電話をしてください

「さんの代理で伝言します。私は避難所にいます……………」

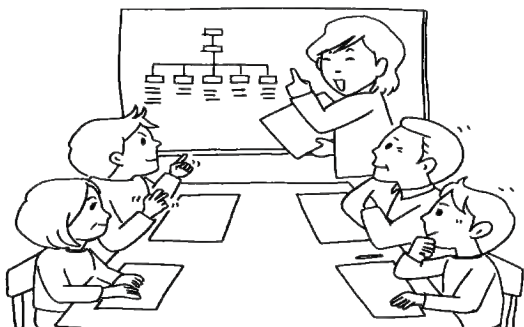


6・ 聞こえない皆さんへ

☆ 普段の生活で、できることはしっかりやっておきましょう 『備えあれば憂いなし』

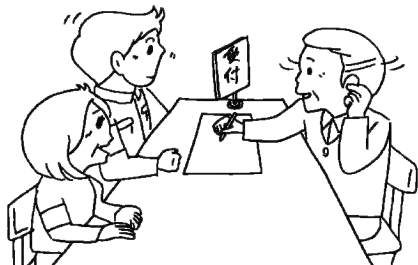
家族で避難場所、経路を確認し、連絡方法などを話し合ひましょう

日頃から近所付き合いをしましょう



☆ 避難所に行ったら

聞こえないことを受付や周りの人に知らせ情報を保障してもらいましょう



☆ 聞こえない人に便利な物

メモ・笛・文字メールの活用

簡単・短く・筆談を！



呼ぶとき、助けるとき！

☆ 携帯電話TVコール活用



災害伝言サービスで情報を得られる！

7・ 福祉(第二次)避難所 (行政で検討中)

※災害が落ち着いた時

行政の指示で「聞こえない人」は福祉(第二次)避難所へ集まる

町・道路の様子、自分の家がどうなったかわからない時は、行政の人に調べてもらう

集まる時は、行政の人、またはボランティアの人と一緒にいく

自分だけで勝手に行かない(第一次避難場所の人に福祉避難所へ移動することを必ず伝える)

福祉(第二次)避難所に着いたら

要援護者(聴覚障害者)の安全を確認する

情報機器で状況をつかむ

通訳・ボランティアを派遣してもらう

ここでも仲間で助け合う

自分の家、家族、友達は怎么样了か心配ですが、順に調べるので勝手な行動はしない

